

# DX推進の取り組み等

## データセンター

### 概要

西日本エリア30府県にデータセンターを保有しており、通信キャリアとして培った抜群の災害対応力、24時間365日の保守運用体制等、お客様に安心してご利用いただける環境をご提供いたします。

### 特長

#### ■各府県で1ヵ所以上データセンターを保有

◇西日本エリア30府県にデータセンターを保有しており、お客様の情報システムの保管先を自由に選択することができます。

#### ■堅牢な建物と十分な耐震設備を保有

◇NTT西日本のデータセンターは、熊本地震(震度7)及び阪神・淡路大震災(震度7)にも倒壊しなかった実績を持っており、耐震性、防災性に非常に優れたファシリティ環境を利用できます。

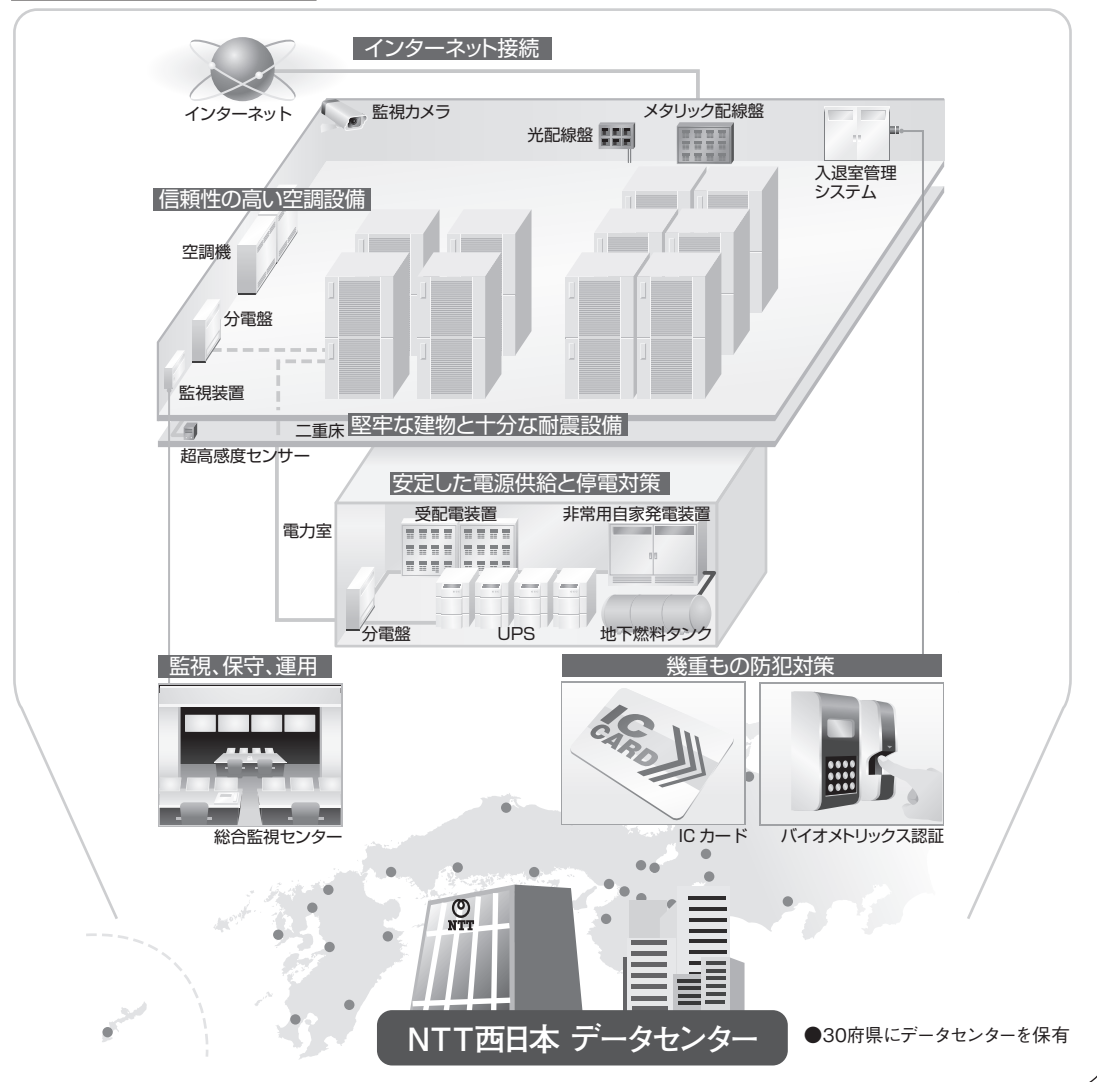
#### ■豊富なネットワークサービスを提供

◇お客様のニーズに応じた豊富なネットワークサービスを迅速かつ柔軟に利用できます。

#### ■幾重もの防犯対策を実施

◇入室・退出管理に加え、ICカードや監視カメラ等の設備を導入しており、安心のセキュリティー環境を実現します。

### データセンター例



※提供ビルにより、サービス提供内容が限定されます。

## お客様のデジタルトランスフォーメーションを支援する取り組み ～ LINKSPARK ～

NTT西日本は、共創ラボ「LINKSPARK」を大阪、名古屋、福岡、広島に設立し（2023年1月19日）、お客様と共に推進するDXテーマを設定し、デジタル人財やスタートアップ／パートナー企業との共創により、お客様のデジタルトランスフォーメーション（DX）の加速を推進しています。



**お客様がめざすビジネスゴールの達成  
新規事業創出、事業転換/事業継続、売上拡大 等**

オープンイノベーション施設

# QUINTBRIDGE

(クイントブリッジ)

## 社会を変えたい 思いと思いが、出会う場所。

世の中をもっと良くしたい、と考える  
企業・スタートアップ・学生・自治体などが、  
立場にとらわれず交流するオープンイノベーション施設、それがQUINTBRIDGE。  
志を持つ会員同士が自由に共創し、実社会での活用をめざします。  
アイデアや技術、知見や課題を持ち寄り、それぞれの個性を活かし、  
あなたの思いをみんなの思いにしていきたいと思います。



項目名		実績	基本情報	
会員数	共創パートナー (法人会員)	873組織	開業日	2022年3月24日
	QBメンバー (個人会員)	12,206名	延床面積	約4,000㎡
連携パートナー		49組織	構造	地上3階
延べ利用者数		92,473名	営業時間	平日 9:00~21:00
イベント実施回数		477回		土曜 13:00~18:00
			日祝	休館

QB公式プログラム		
学ぶ	UP↑UP↑ Program	互助型学びのコミュニティ
繋がる	Shining Startup	スタートアップピッチ
共創する	Business Match-up!	課題提供型ピッチ
	Future-Build	未来共創プログラム

## AIを活用した取り組み

### 社内での活用事例

NTT西日本グループの生産年齢人口減少が見込まれる中、生産性向上と働き方改革を実現し、安定的な事業運営とより働き甲斐のある企業を旨とするため、NTT研究所、NTTグループ会社、他IT企業と連携し、AI等の最新技術の活用トライアルを実施して有効性を確認した上で、本格的に社内業務へ導入しています。

#### <本格導入事例>

##### ◆AIを活用した契約書等のチェックによる審査業務の品質向上および効率化

概要	・契約業務において、必須項目の抜け漏れ確認、不利な(リスクのある)内容の有無の確認の作業に多くの稼働が発生していたが、AIの導入によりドキュメント審査を自動的に実施することで、審査品質向上かつ審査稼働削減を実現
特徴	・ひな型の構成や文章表現に依存せず、条文分析とポリシー審査が可能 ・自社事情や業界慣習を考慮した判断基準の設定が可能 ・審査対象の契約書等の記載条項から、自社で予め用意した契約書の雛形と比較し、リスクとなりうる記述の検出が可能
利用シーン	・営業等現場における契約書のチェック

##### ◆AIを活用した問い合わせ数の予測によりプロアクティブな設備運営を実現

概要	・従来熟練者の経験に基づき予測していた、「故障受付数(コール数)」をAIを用いて分析予測 ・予測情報により日々の人員配置数等への反映を行い、プロアクティブな設備運営を実現
特徴	・過去のコール数データと気象データ(降水量、風速)等から 故障受付センター(113)へのコール数を予測 ・運用を通して継続的に精度向上を実施
利用シーン	・コールセンター業務のコール予測・人員の最適化

## AIを活用した取り組み

NTT西日本グループの生産年齢人口減少が見込まれる中、生産性向上と働き方改革を実現し、安定的な事業運営とより働き甲斐のある企業を目指すため、持株研究所、NTTグループ会社、他IT企業と連携し、各種AI技術の活用トライアルと本格的な社内導入を進めています。

### ・AI技術の活用例

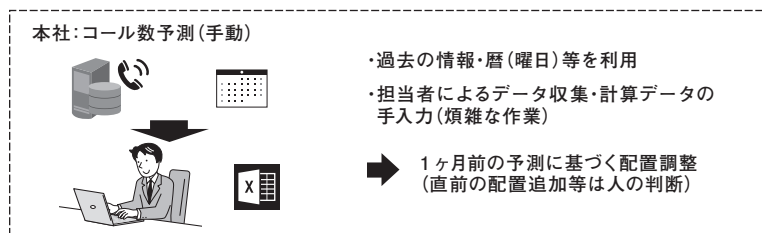
社内問合せ対応へのチャットボット・ドキュメント検索等の自然言語解析技術活用  
 オンサイト点検における画像認識技術活用  
 故障、工数対応の最適化を目指した機械学習・予測モデルの活用 等

### 社内での活用事例

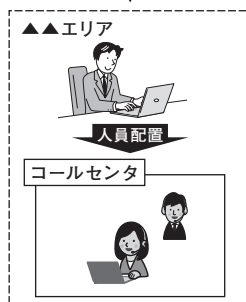
■災害時など刻々と変わる天候等に合わせ、故障受付センタの受付人員を最適に配置し、迅速な故障対応の実現を図るため、AI技術を活用した故障連絡（コール）・受電数の予測を実施

#### 従来の業務

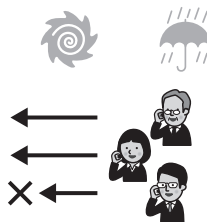
- ・個人の経験・ノウハウをもとにした予測計算（暗黙知）
- ・複雑な各種データの収集と手入力を手動で実施
- ・ひと月前の予測情報を元にした配置調整



配置計画の通知・調整

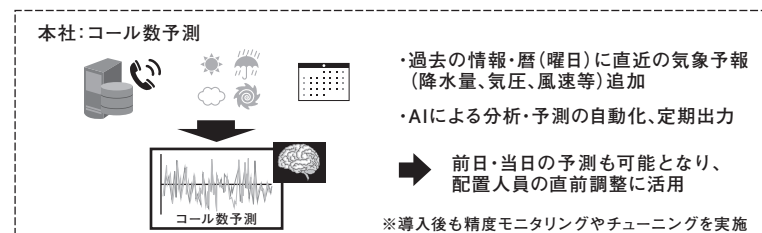


予期せぬ天候により故障が増加し、コールが繋がらないケース発生

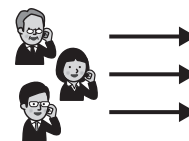
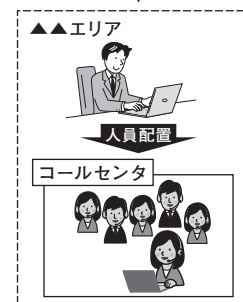
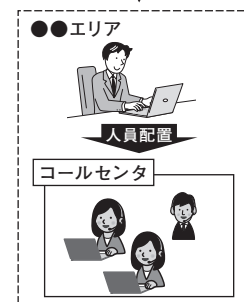


#### AIによるコール数予測

- ・過去データの学習・分析によりノウハウをシステム化
- ・データ連携による分析・予測により自動的、定期的な予測出力
- ・直前の配置調整に前日・当日予測が活用可能に



配置計画の通知・調整



## 社内のデジタルトランスフォーメーションに向けた取り組み

NTT西日本グループでは、「効率的な事業運営」と「新たな価値創造」の実現に向けて、「デジタルトランスフォーメーション (DX)」を推進しています。自らの業務において積極的にICTを活用し、様々な業務プロセスをデジタル化することで、効率的かつ高品質なサービスの創出等の新しい価値の創造につなげて参ります。

### ■主な業務プロセスのデジタル化施策

- ・法人のお客さま向けの受付～開通関連プロセスのデジタル化
- ・工事・保守関連プロセスのデジタル化 等

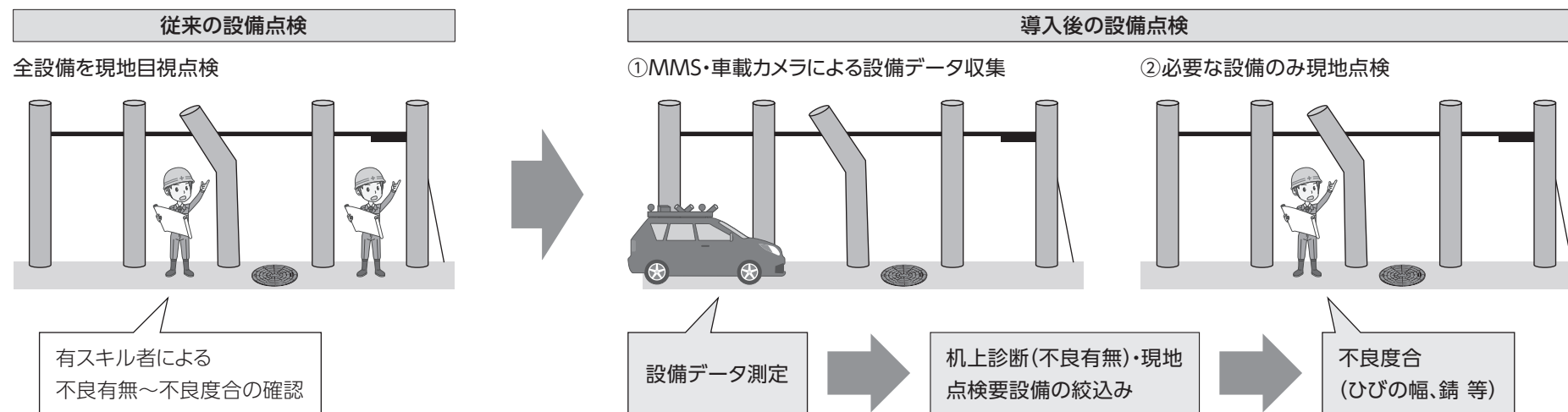
### 工事・保守関連プロセスのデジタル化に関する取り組み例

#### ・MMS (Mobile Mapping System) による架空構造物の点検について

MMS (Mobile Mapping System) と呼ばれるカメラを搭載した車両により、電柱等の架空構造物点検業務の効率化を図るために、当社が所有する架空構造物の画像データを取得します。MMSとは高解像度カメラを搭載した車両により架空構造物の画像データを取得し、保守すべき電柱等を特定します。

#### ・点検概要

- (1) 点検実施期間：2020年6月より開始
- (2) 点検実施場所：NTT西日本管内全域 (一部エリアより開始し、2020年6月以降順次拡大予定)
- (3) 使用台数：3台にて運行し順次拡大



<参考><https://www.ntt-west.co.jp/info/support/oshirase20200603.html>